



# イメージの広がり☆三

先日おままごとをしていた女の子グループ。自分達で話し合って役を決めて楽しめるようになりました。おままごとを楽しんでいる内に、段々とお店屋さんごっこに発展していった様子。しかし急にTちゃんがその場から離れ、お部屋から画用紙とクレヨンを持ってきました。



私は、おままごとには飽きてお絵描きをするのか… と思い、「ここで書かないでお部屋のテーブルの所に行って描こうよ。」と思わず声をかけそうになりました。しかしよく見ると何やら文字を書いています。「何描いてるの？」と聞くと、「ここお店屋さんだから看板！」と答えたTちゃん。あ、そっか！なるほど！と思い、様子を見守っていました。すると覚えたひらがなをスラスラと書いていき、「出来たー！」と嬉しそうな笑顔。それからまたお部屋に走っていき、今度は何をするのか？と楽しみにしていると、テープを持ってきたようです。

そのテープで「ここにしよっと♪」と位置を決めてぺたっと貼り、満足そうでした(^^)壁に「れすとらん おいしいよ」と書かれた看板を貼ってみようとしていたんですね。それを見た周りの子達は、何だか楽しそう…♪と近寄ってみたり、興味津々でのぞいていました☆



こんにやく！

次に「メニュー何にする？」と相談を始めた子ども達。「アイスとジュースと…ん～あと分かんないから先生考えて！」と言い出しました。そこで私は「じゃあ皆桜祭りでお店あったか思い出してみたら？」と少しヒントを出すと、「あ！チーズドッグ！あとさ、こんにやくもあった！」「うん！見た！♪焼き鳥もあったよー！」「お化け屋敷にも行ったよ！」とそこで自分達が経験したもの、実際に見た物から会話がまた広がっていきました。

年長児になると、絵だけではなく文字や数字を使って自分のイメージを表現するようになります。また友達とのやり取りの中でも、文字などを使いながら遊びを楽しむようになります。メニューを考えている場面では、保育者が先に答えを出すのではなく、少しヒントを与えることで子ども達の会話が広がりました。自分の見たもの、感じたもの、経験したことをしっかりと言葉で相手に伝えることが出来ます。また相手の話もきちんと聞こうという姿勢も身に付いてきます♪